

令和6年度 相模原中央支援学校 不祥事ゼロプログラム

	項目	目標	行動計画
①	法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)	職員一人ひとりが、常に公務員としての自覚を持ち、規律を守って行動する	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止会議、不祥事防止研修会等で公務外非行に関する注意喚起を継続する ・不祥事防止チェックリストを活用し、各自の意識を高める
②	職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	立場や役職に関わらず、相手の人権を尊重する言動を心がけ、お互いに意見し合える同僚性の構築に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士がコミュニケーションを取り合える、風通しの良い職場づくりを推進する ・職員研修や会議等で、ハラスメントに対する意識向上を図る
③	幼児・児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	幼児・児童・生徒の人権を守るための研修をとおして、わいせつ・セクハラ行為を防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や話し合いをとおして、各自の人権意識を高める ・気になることを伝え合う関係性づくりを進める ・複数対応の徹底を図る
④	体罰、不適切な指導の防止	幼児・児童・生徒の人権を尊重し、障がいの特性や行動の特性に応じた指導力の向上に努めることで、体罰や不適切指導を未然に防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰や不適切指導防止に関する不祥事防止会議、不祥事防止研修会等を継続して実施し、職員間での共通理解のもと、子どもの指導にあたる ・授業公開、研修等をとおして専門性と指導力の向上を図る ・職員間で子どもの指導や支援について、気になることを伝え合い、相談し合える関係性づくりを進める
⑤	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理することで、事故防止を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱者、管理者を明確にし、定期的に管理状況を把握する ・複数でのチェック体制を徹底する
⑥	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、情報の流れを把握して、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護及び情報セキュリティの管理についての研修を実施し、理解を深める ・個人情報の紛失・誤廃棄を防ぐため、申請と承認の手続きを徹底する ・誤配付を防ぐため、複数でのチェック体制を徹底する
⑦	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図るとともに、通勤・出張における運転や私的な運転についても意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発資料等をもとに、交通事故等の防止の意識づけを図る ・公私問わず、軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を醸成する
⑧	業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互にチェックを行い、業務を遂行する	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規定に従って業務を遂行し、チーム内でチェックすることを習慣づける ・特定の個人に負担がかからないよう留意する ・管理職等への「報告・連絡・相談」を徹底する
⑨	財務事務等の適正執行	私費会計について、現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務にかかる諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理を防止する ・「私費会計事務処理の手引」を遵守し、改善の必要があれば検討していく